

第 53 回 体育大会デコレーション用アナウンス原稿

赤団

デコレーション長 稲垣 徹 副デコレーション長 藤井 麻衣子 以下 12 名

今年の赤団のデコレーションは、以前よりも迫力があり、とても素晴らしい絵に仕上がりました。その中でも、特に工夫したところは、パネル一杯に豹を描いたことです。大抵、動物などの絵は体全体を描くのですが、今回は動きプラス迫力をつけるために、手や顔を大きくしたり、遠近感をつけました。それによって、画面から出てきそうな感じが出ました。（まるで貞子のように…）

他の団と少し違う感じの絵になったと思いますが、そこもまた見所です。どうぞ、近くからでも、遠くからでも、教室から、トイレから、木の上から、屋上から…。どんな所からでも結構です。……見てください。

デコレーション長 押上 奈央 副デコレーション長 田嶋 薫 以下 12 名

私たちが想像する白虎は強く、たくましい姿をしている白虎です。そのイメージをデコレーションに表わすために顔を大きくして迫力をだし、白虎の毛を一本一本書くことで動きをだしました。背景は虎をひきたたせるために対称の色を選び力強い感じを出しました。

絵がほぼ完成したときに、まだ何かさみしい感じがしたので、みんなで相談して、ひげとつめを工夫することになりました。そして最後に虎の周りに銀のスプレーでオーラを出しました。

言葉の魁壘(かいるい) 